

平成29年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

施設名	大和市コミュニティセンター深見南会館
指定管理者	大和市コミュニティセンター深見南会館管理運営委員会 会長 村上法芳
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

- ・センターの使用の承認に関する業務

室名	件数	使用時間	使用人数	使用料
学習室	169	333	961	26,100
休養室	400	964	2,796	85,500
実習室	53	178	287	2,800
集会室	364	1,004	6,059	223,500
保育室	272	485	1,835	106,700
合計	1,258	2,964	11,938	444,600

- ・センターの維持管理に関する業務

午前10時から午後5時30分までの職員の配置、建物の定期点検及び保守管理、小破修繕の実施、物品の管理等について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・地域の特色を活かした地域コミュニティの推進を図る業務（主な事業）

事業名	開催期間	参加者数
講話「身近な消費トラブル生活に巻き込まれないために」	6/17	16名
七夕の集い及び安全安心こども映画会(児童館共催)	7/2	159名
伝承料理教室	8/19	15名
コミュニティ音楽館	10/7	60名
敬老のつどい	10/28	145名
男性料理教室	2/17	12名
開館30周年記念式典	3/11	71名

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	4,475,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	1,956,430
雑入 (預金利息等)	16,927	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	260,366
		研修費 (指定管理者が職員の資質向上のために実施した研修等費用の金額)	25,530
		管理運営費 (光熱水費や消耗品、修繕等、電話代等、施設の維持管理のために支出した金額)	1,996,295
収入計 (①)	4,491,927	支出計 (②)	4,238,621
収支決算	253,306		

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成30年3月に使用者アンケートを実施し、意見聴取を行いました。

評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか

- ・施設の使用許可事務については、条例等に則り適切に行われています。
- ・市で実施した使用者アンケートでは、スタッフの対応について、全ての回答者から「満足」との評価を得ており、前年度から引き続き高い評価を維持していることは評価します。
- ・使用者の要望を受け、カラオケ機器を更新したほか、休養室でも軽い運動を行えるようにマットを購入する等、使用者の利便性向上に努めています。
- ・市が実施した集会室改修工事では、工事日程の変更が重なりましたが、使用者へ使用可能日・空室状況を随時連絡し、平等な利用の確保を図るとともに、使用者への影響を最小限に抑えました。

評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

- ・敬老のつどいを始めとした様々な自主事業を実施し、地域コミュニティの醸成を図っています。また、敬老のつどいでは、145名もの参加者が階段等で転倒しないよう、数人ずつの退場を案内する等、参加者の安全面にも配慮した事業運営を行っていることを評価します。

評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか

- ・日常の清掃が適切に行われていることに加えて、7月に使用者と合同で会館清掃を行う等、地域全体での施設維持への取り組みが見られます。

評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

- ・会長が中心となって施設の状況に目を配り、施設の管理を安定して行う体制を維持しています。
- ・財務状況は、施設の管理運営を安定的に行う上で十分なものと判断しています。
- ・指定管理会計の収支決算は良好な状況です。剰余金については、使用者の利便性向上のために拠出することを心掛けてください。